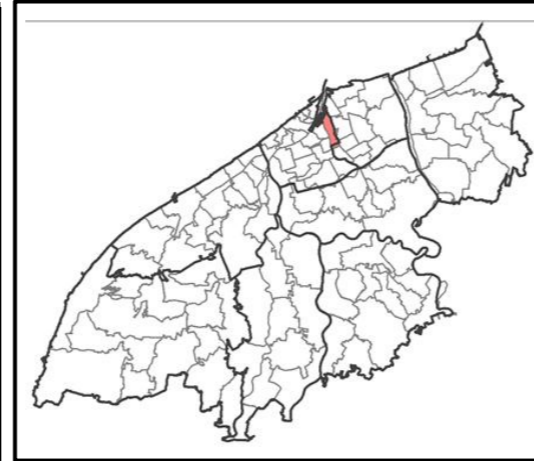


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table listing residential addresses: 鏡が岡, 紫竹1~4丁目, 西馬越, 沼垂東1~6丁目, 日の出1~3丁目, 本馬越, 本馬越1・2丁目, 山木戸1丁目, 竜が島1・2丁目.

●位置図

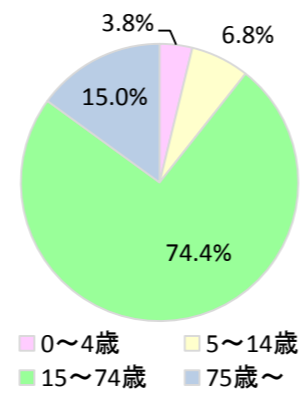


●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, 水防倉庫, 一時避難場所, 広域避難場所, 主利な用要施設配設慮者 (幼稚園・保育園, 高齢者福祉施設, 障がい者福祉施設).

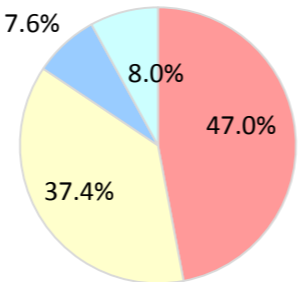
●人口

Table showing population statistics: 総人口 (10,648), 0~4歳 (405), 5~14歳 (729), 15~74歳 (7,917), 75歳~ (1,597), 65歳以上人口 (2,966), 世帯数 (5,103), 一世帯あたり人口 (2.1), 人口密度 (4,153/km²), 昼間人口 (10,116).



●建物関連指標

Table showing building indicators: 総棟数 (4,624), S55年以前建築 (2,174), S56年以降建築 (1,727), 計 (3,902), 非木造 (723), S56年以降建築物 (2,097).



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

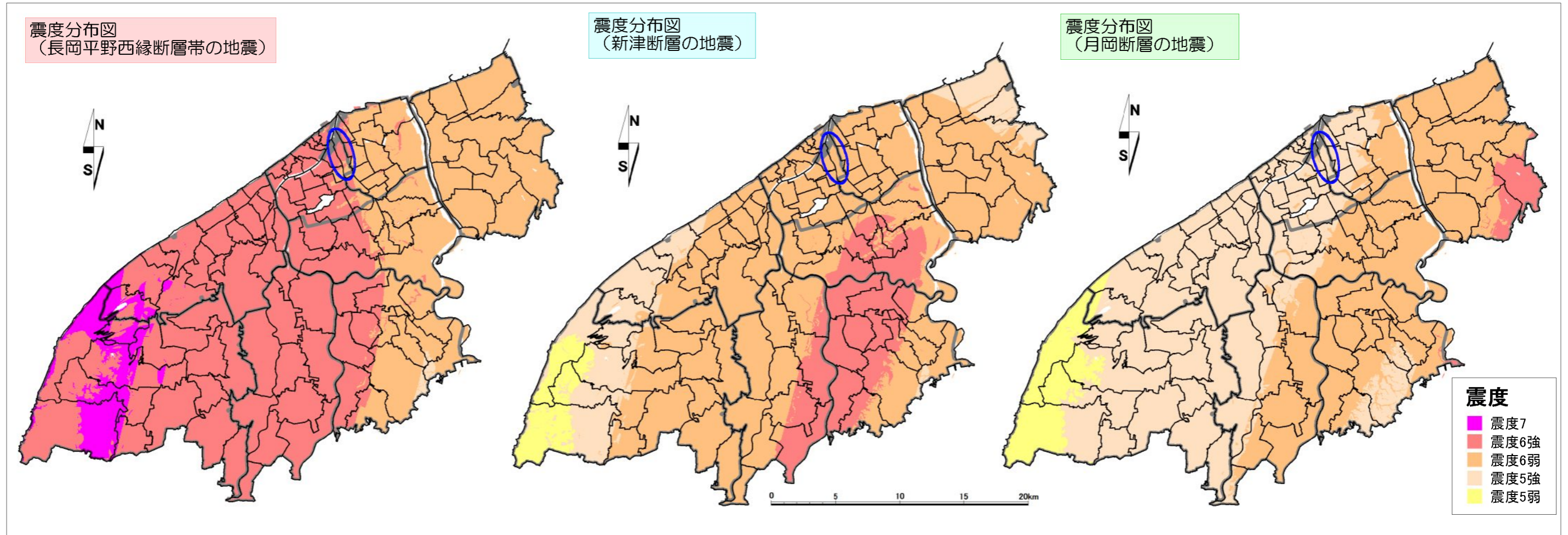
Table listing evacuation sites and tsunami evacuation buildings within the district, including 沼垂小学校, 東新潟中学校, 明鏡高等学校, etc.

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites and tsunami evacuation buildings outside the district, including 日和山小学校, 北部総合コミュニティセンター, etc.

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 地震・津波 (震害の大部分が軟らかい地盤の上)... 水害・土砂 (阿賀野川の洪水, 信濃川下流の洪水...).



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

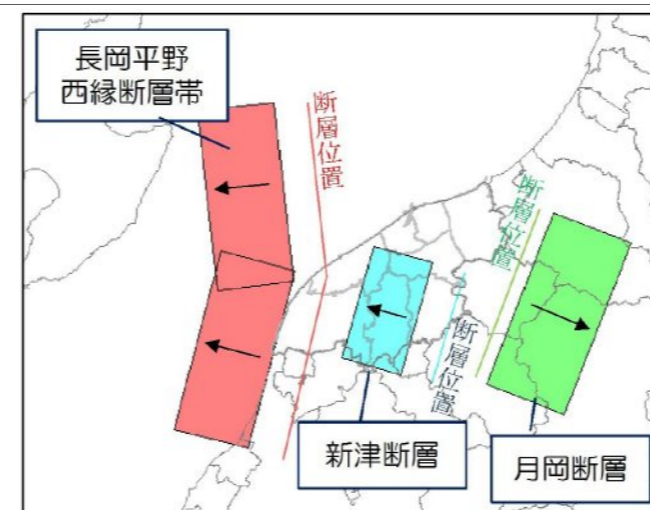
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

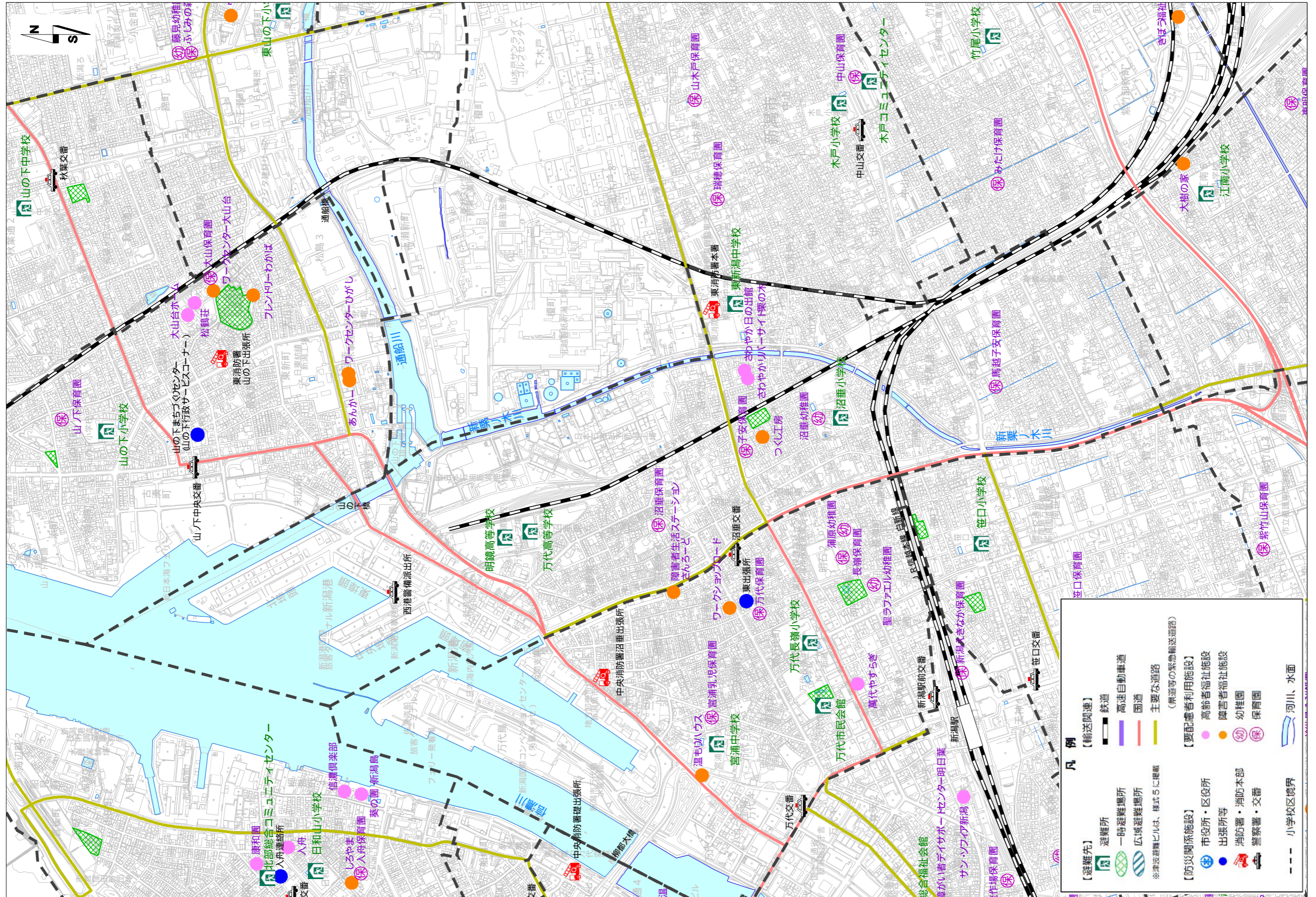
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。



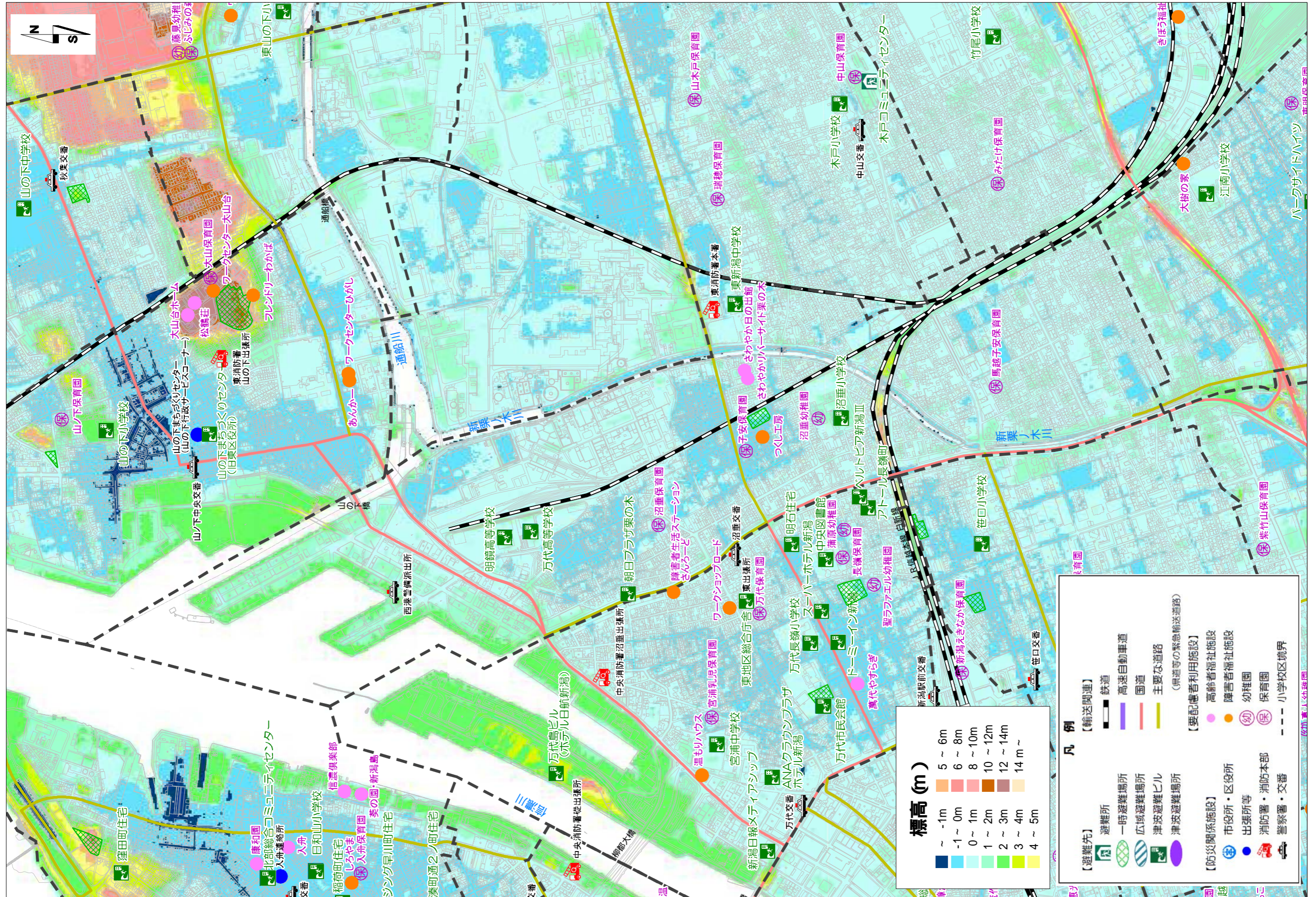
【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)





様式5 標高分布図

沼垂小学校区



[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



凡例

【避難先】
 避難所
 一時避難場所
 広域避難場所
 津波避難ビル
 津波避難場所

【防災関係施設】
 市役所・区役所
 出張所等
 消防署・消防本部
 警察署・交番

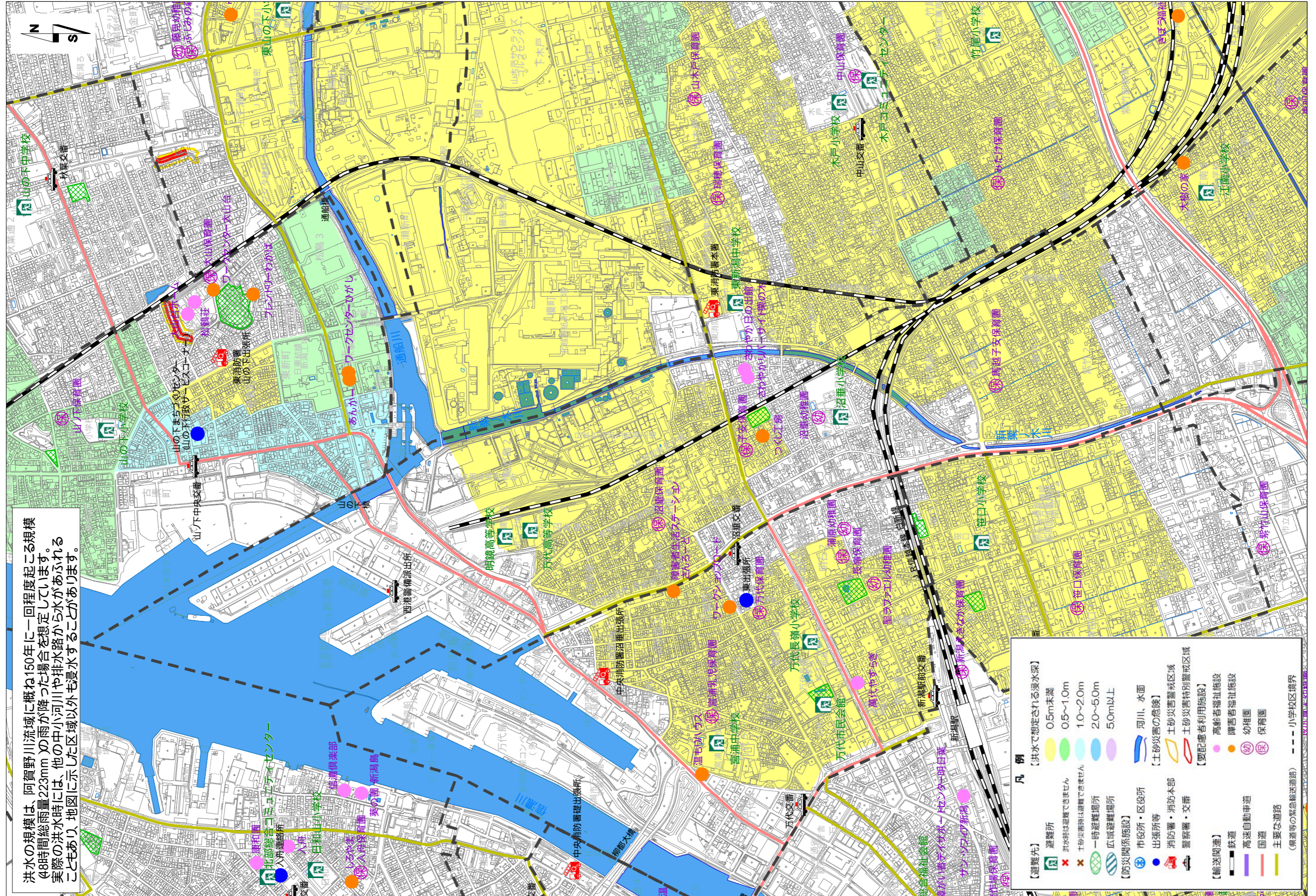
【輸送関連】
 鉄道
 高速自動車道
 国道
 主要な道路
 (県道等の緊急輸送道路)

【要配慮者利用施設】
 高齢者福祉施設
 障害者福祉施設
 幼稚園
 保育園
 小学校区境界

標高 (m)
 ~ -1m
 -1~0m
 0~1m
 1~2m
 2~3m
 3~4m
 4~5m
 5~6m
 6~8m
 8~10m
 10~12m
 12~14m
 14m~

様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

沼垂小学校区

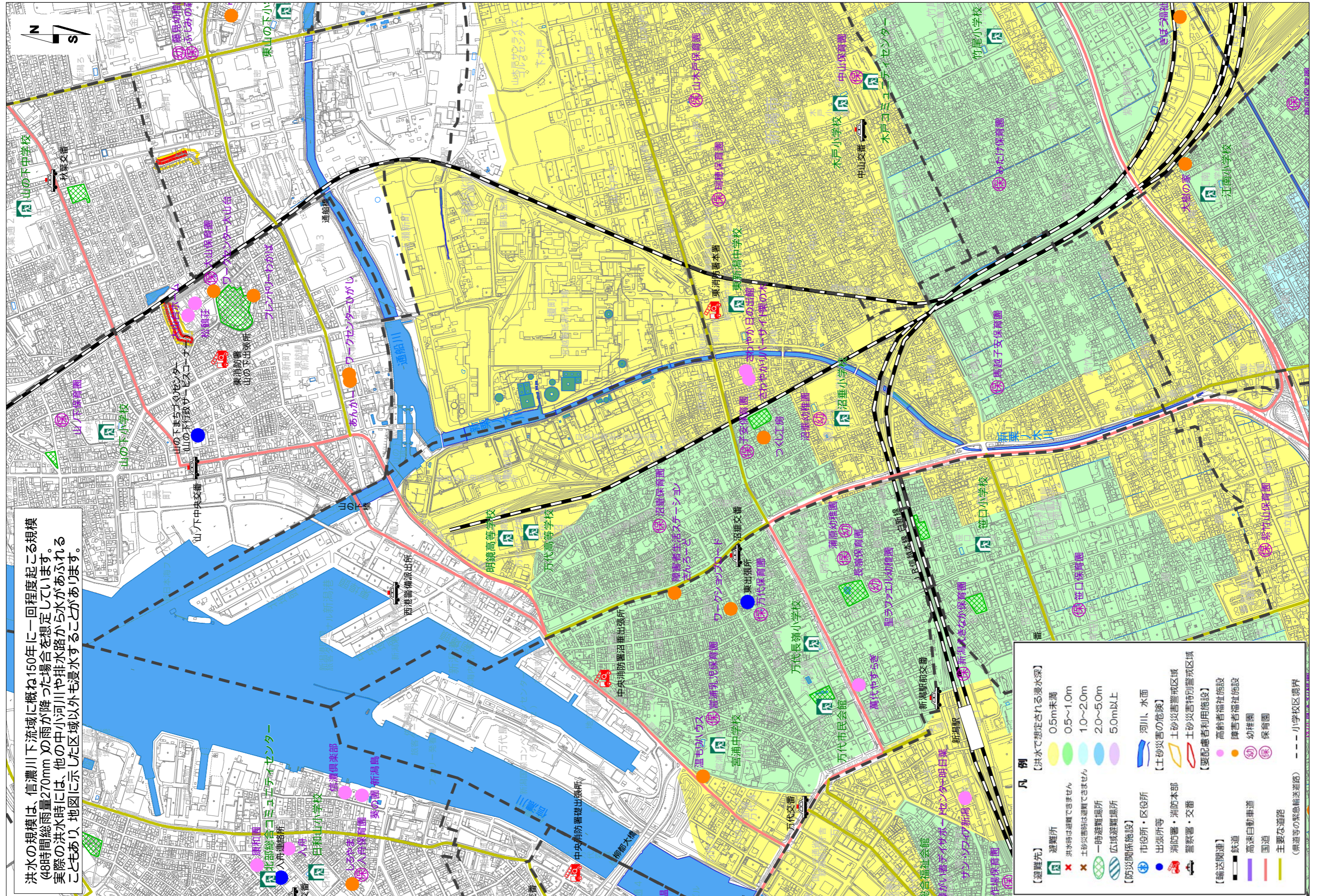


〔出典〕 基礎地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
 阿賀野川浸水想定区域 (国土交通省,平成14年1月31日)



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

沼垂小学校区



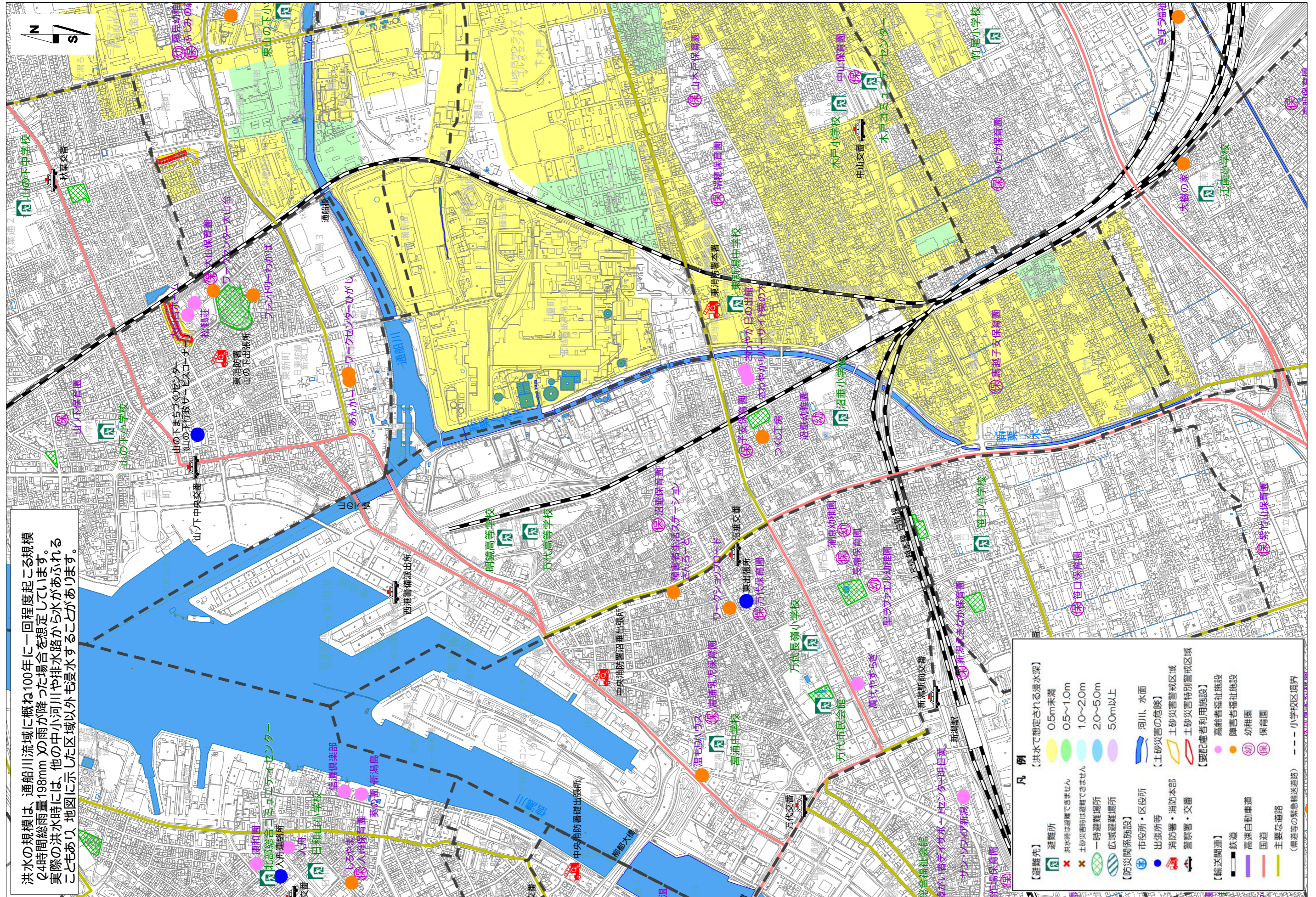
洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（通船川・栗ノ木川下流（新栗ノ木川））

沼垂小学校区



洪水の規模は、通船川流域に概ね100年に一回程度起こる規模（24時間総雨量198mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外にも浸水することがあります。

【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
 通船川・栗ノ木川下流（新栗ノ木川）浸水想定区域（新潟県、平成17年8月25日）

